

12～15歳のお子様と保護者の方へ

1. 予防接種会場への保護者の同伴について

原則、保護者の同伴が必要です。ただしやむを得ない事情で、保護者が予防接種会場に同伴できない場合、お子様の健康状態をよく理解している親族などが同伴してください。その場合は、保護者の同意書を提出していただきます。

2. 予診票の記入方法（記入例参照）

①接種希望書

- ・接種を希望する場合は、「接種を希望します」にチェックを入れる。
- ・「被接種者又は保護者自署」は、保護者の氏名を記入する。

②電話番号

- ・予診票の「電話番号」記載欄には、緊急連絡先（必ず保護者の方と連絡がつく電話番号）と続柄を記入する。

▼予診票の記入例

必ず保護者の方と連絡がつく電話番号をご記入下さい。

新型コロナワクチン接種希望書

医師の診察・説明を受け、接種の効果や副反応などについて理解した上で、接種を希望します。（接種を希望します・接種を希望しません）

この予診票は、接種の安全性の確保を目的としています。

このことを理解の上、本予診票が市町村、国民健康保険中央会及び国民健康保険団体連合会に提出されることに同意します。

令和3年○月△日 被接種者又は保護者自署 **新城 花子**

（※自署できない場合は代筆者が署名し、代筆者氏名及び被接種者との続柄を記載）
（※被接種者が16歳未満の場合は保護者自署、成年被後見人の場合は本人又は成年後見人自署）

3. コロナワクチンの効果と副反応について、よく理解した上で接種をしましょう

守ってほしいこと

ワクチンを早く受けている人や、ワクチンを受けられない理由がある人など、様々な人がいます。

ワクチンを受けている、受けていないと言った理由で、周りの人を悪く言ったり、いじめたりすることは、絶対にあってはなりません。

副反応について

他のワクチンに比べて、発熱や痛みが出やすいですが、2、3日で自然と良くなるのがわかっています。症状が出たら、あわてずにきちんと周りの大人に知らせましょう。

ワクチンの効果

新型コロナにかかりにくくなります。

1	効果1 新型コロナとたたかう仕組み（免疫）ができて、実際にウイルスが体に入ってきたときに、すぐたかえるように準備します。
2	効果2 コロナにかかる人が減り、社会生活の制限が減っていくことも期待されています。

出典：厚労省 HP

接種後の感染対策

ワクチンを受けた後も感染対策が必要です。今までのように感染予防対策を続けましょう

外出控え 密集回避 密接回避 密閉回避 換気 咳エチケット 手洗い

すぐ起こることがある症状

- アナフィラキシー
重いアレルギー反応でじんましんや息苦しさなどの症状が出ます。体がかゆくなったり、せきが出たりしたときは、すぐに周りの大人に伝えましょう。
- 血管迷走神経反射
ワクチンに対する緊張や痛みをきっかけに立ちくらみや気を失うことがあります。横になって休めば自然に治ります。倒れてけがをしないように背もたれのあるイスに座って休みましょう。

数日以内に起こることがある症状

症状が出た人の割合	症状
50%以上	注射した部分の痛み、疲れた感じ、頭痛
10～50%	筋肉痛、寒気、関節痛、発熱
1～10%	注射した部分のはれ・赤み、げり、おう吐

詳しい情報

ワクチンの有効性・安全性などの詳しい情報については、厚労省のホームページをご覧ください。（右記 QR コード読み取り）